

第5学年〇組 家庭科 学習指導案

実施期間 令和〇年〇～〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 題材の構想

ミシンにトライ！手作りで楽しい生活 内容B（5）ア（ア）（イ）イ

題材終了後の子どもの姿	<p>エプロンの製作について課題を設定し、その解決を通して、ミシン縫いや製作に関する基礎的な知識・技能を身に付け、製作の楽しさや達成感を味わっている。</p> <p>また、製作したものを日常生活で活用することで手作りのよさを実感し、物づくりの意味について考え、消費者としての見方や考え方を広げようとしている。</p>		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
題材の目標	<p>製作に必要な材料や手順、ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な使い方について理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。</p>	<p>エプロンの製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして、課題を解決する力を身に付ける。</p>	<p>家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。</p>
目標に向かうための手立て	<p>○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>【めあて】 生活の中から問題を見いだして、課題を設定できるよう、第1時で生活の困り事（調理実習や給食当番時に使うマイエプロンがないこと）やどんなエプロンを作りたいのかを出し合うなど、既習事項を想起する活動を位置付ける。また、自分が知りたい・できるようになりたいことをタブレットを用いて共有することで、児童が主体的に解決したいと思う課題になるようにする。各授業では、課題との関連を意識したり、前時の学びの状況を振り返ったりすることでめあてを設定できるようにする。</p> <p>【振り返り】 生活を振り返り、生活に学びを生かすという教科の特質や、自分の成長を自覚できるよう、「これまで」「今日の学び（分かったこと・新たな疑問）」「これから（次時・今後の生活）」の視点で振り返りの蓄積を行う（授業支援アプリのポートフォリオ）。また、題材終末では、手作りの意味を考える活動や学びの生かし方について考える活動を設定し、消費者として自分にできることを考えられるようにする。</p> <p>【対話】 布端の始末や縫う順番、縫い方の工夫などの課題について、見本や段階写真の観察、紙を用いた操作活動（試作）をもとにペアや班で検討することで、課題解決を促し概念的な理解につなげる。</p>		
子どもの実態 30人	<p>○1学期の手縫いによる小物作りで、縫う順番や丈夫にするための縫い方の必要性を学習している。</p> <p>○ミシンを使った経験がある児童は3人。家にミシンがない児童は5割を超えている。ミシン縫いに不安をもつ児童が多いため、技能の習得の時間を確保したい。</p>	<p>○手縫いによる製作では、手縫いの方法や製作計画について解決したい課題を設定することや、縫う順番や縫い方の工夫を考え、それをもとに製作計画を立てる経験をしている。</p> <p>○家庭実践を報告書にまとめる活動では2人が苦手意識をもっていたため、必要に応じて記入例を示したい。</p>	<p>○学んだことを家庭で実践してみる児童は7割と高く、1学期の手縫いの学習後に家庭で製作活動をした児童は4割いる。</p> <p>○新たな問題を見いだしたり、製作活動以外で衣生活を工夫したりしている児童は1割と少ない。</p>

題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①ミシンなどの用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。</p> <p>②製作品の使い方に応じて、丈夫に縫ったり布端を始末したりする必要性を理解し、ミシン縫いによる直線縫いや縫い始め・縫い終わり、角の縫い方の処理が適切にできる。</p> <p>③布の特徴が分かり、縫いしろ分を加えた布の大きさを決めることや、効率や安全のために作業の順番を決める必要があることについて理解している。</p>	<p>①製作手順やミシン縫いによる縫い方などについて問題を見だし、課題を設定している。</p> <p>②課題を解決するための方法について、既習事項や生活経験と関連付けて考え、適切な解決方法を選び製作計画を立てている。</p> <p>③製作計画や製作過程で考えたこと、工夫したりしたことを評価し、改善策を考えている。</p> <p>④課題解決に向けた一連の活動について考えたこと、今後の生活について生かしたいことを分かりやすく表現している。</p>	<p>①「世界に一つだけのエプロン」の製作計画・製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②「世界に一つだけのエプロン」の製作計画及び製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>③学んだことを生かして、生活を工夫し、実践しようとしている。</p>

指導と評価の計画（12時間取り扱い ●本時7/12）

課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
目 指 せ ！ 手 作 り 名 人 II を 作 ら う ！ 世 界 に 一 つ	1	1	○布製品のよさを話し合い、ミシン縫いの特徴を調べたり、身近な布製品を観察したりして、問題を見だし、課題を設定し、学習計画を立てる。	【思】①ポートフォリオ
	2	4	○ミシン縫いの基本操作（上糸・下糸の準備、縫い始め・縫い終わり、角縫い、直線縫い）を身に付ける。	【知】①②練習布、観察
		1	○布の種類や特徴を確認し、エプロンに適した布を選ぶ。 ○必要な布の大きさや布端の始末について考える。	【知】②③学習シート、ミニエプロンの型紙
	3	1	●エプロンの製作手順や縫い方の工夫を考え、製作計画を立てる。	【思】②学習シート
		4	○製作計画をもとに製作する。	【知】①②観察、作品 【思】②③ポートフォリオ
	時間外		○調理実習や給食当番、家庭でエプロンを使用する。	【主】①ポートフォリオ
	4	1	○使用した感想をもとに一連の活動を振り返り、今後の衣生活（製作、製品の購入、使用）に生かすことを考える。	【思】④ポートフォリオ 【主】②③ポートフォリオ

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

見本の観察やミニエプロンの型紙を用いた操作活動を通して、エプロンの製作手順や縫い方の工夫を考え、製作計画を立てることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考・ICT 機器等
導入	5	1 本時のめあてを確認する。	○エプロンを作り始めていいかな。 ・作る手順を知りたい。 ○どんなエプロンを作りたいかな。 ・長く使える丈夫なエプロン。	○学習計画や前時の学習、小物の製作を想起することで、めあて設定につなぐ。	掲示物 電子黒板
	「世界に一つだけの□□なエプロン」を縫う順番と縫い方の工夫を考え、製作計画を立てよう。				
展開	15	2 縫う順番を考える。 (1)グループで考える。 (2)全体で共有する。	○どこを縫えばよいでしょうか。 ・周りを三つ折りにして縫う。 ○どんな順番で縫うとよいのか考えましょう。 ・重なっているところを見ると、縫う順番がわかる。 ・ひも通しの部分を後に縫うとひもが通る。	○ミニエプロンの型紙で三つ折りすることで、縫う順番を考えられるようにする。 ○見本を観察することで、縫う場所や順番を考えられるようにする。	ミニエプロンの型紙（前時に作成済み） 完成見本（ミニエプロンA） 電子黒板
	15	3 縫い方の工夫を考える。 (1)グループで考える。 (2)全体で共有する。	○□□なエプロンにする縫い方の工夫を見つけましょう。 ・丈夫にするために、ひも通しの所の縫い始めと縫い終わりは、はみ出して縫ってある。小物の作りと同じだ。 ・ひもが通せるように、ひも通しの所は端を縫ってある。 ・長く使えるために裾が大きく三つ折りしてある。身長が伸びても調整ができると思う。	○第1時の児童の思いや小物の製作時の工夫を想起することで、工夫して縫う必要がある場所を見いだせるようにする。 ○写真や標本の観察で縫いしろの大きさに気付くようにする。 ◎【思】②縫う部分に応じた適切な縫い方を考えている。	比較見本（ミニエプロンB） 写真（エプロン着用の高校生） 標本（縫いしろ大のエプロン） 学習シート（授業支援アプリ） 学習シート（授業支援アプリ）
	5	4 製作計画を立てる。	○分かったことをもとにして製作計画表を完成させましょう。 ・丈夫に縫う場所を書き込もう。	○手順カードを並べ、工夫点を書き込むシートを準備する。	
終末	5	5 本時の学びを振り返る。	○分かったことや製作で生かしたいこと、新たな疑問などをまとめましょう。 ・丈夫に作るために、返し縫いをしたり1～2針先まで縫ったりする。	○本時のめあてに対する考えを記入できるよう、振り返りの視点を示す。	ポートフォリオ（授業支援アプリ）

小学校 家庭

第5学年〇組 家庭科 学習指導案

小学校・家庭

実施期間 令和〇年〇～〇月
指導者 〇〇〇〇

1 題材の構想

エプロンの製作について課題を設定し、その解決を通して、ミシン縫いや製作に関する基礎的な知識・技能を身に付け、製作の楽しさや達成感を味わっている。また、製作したものを日常生活で活用することで手作りのよさを実感し、物づくりの意味について考え、消費者としての見方や考え方を広げようとしている。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
製作に必要な材料やミシン縫いによる縫い方	エプロンの製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、

ポイント

題材終了後の児童の姿

題材終了後、これからの家庭科の学習や他教科等、実生活、将来に、本学習をどのように生かそうとする子どもを育成したいかを書く。

ポイント

題材の評価規準

学習指導要領解説および国立教育政策研究所の「学習評価に関する参考資料」の内容をもとに具体的に分かりやすく記載する。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①ミシンなどの用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ②製作品の使い方に応じて、丈夫に縫ったり布端を始末したりする必要性を理解し、ミシン縫いによる直線縫いや縫い始め・縫い終わり、角の縫い方の処理が適切にできる。 ③布の特徴が分かり、縫いしろ分を加えた布の大きさを決めることや、効率や安全のために作業の順番を決める必要があることについて理解している。	①製作手順やミシン縫いによる縫い方などについて問題を見だし、課題を設定している。 ②課題を解決するための方法について、既習事項や生活経験と関連付けて考え、適切な解決方法を選び製作計画を立てている。 ③製作計画や製作過程で考えたこと、工夫したりしたことを評価し、改善策を考えている。 ④課題解決に向けた一連の活動について考えたこと、今後の生活について生かしたいことを分かりやすく表現している。	①「世界に一つだけのエプロン」の製作計画・製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ②「世界に一つだけのエプロン」の製作計画及び製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③学んだことを生かして、生活を工夫し、実践しようとしている。

課題等	次 時	指導と評価の計画（12時間取り扱い ●本時） 主たる学習活動	評価内容と方法 評価規準の観点と番号を合わせる
課題等 「世界に一つだけの□□なエプロンを作る」	1	1 〇布製品のよさを話し合い、ミシン縫いの特徴を調べたり、身近な布製品を観察したりして、問題を見だし、課題を設定し、学習計画を立てる。	【思】①ポートフォリオ
	2	4 〇ミシン縫いの基本操作（上糸・下糸の準備、縫い始め・縫い終わり、縫い直し、縫い直し）を身に付ける。	【知】①②練習布、観察
	3	1 〇布の種類や特徴を調べ、エプロンに適した布を選ぶ。必要に応じて、縫いしろ分について考える。 ●エプロンの縫い方の工夫を考え、製作計画を立てる。	【知】②③学習シート、ミニエプロンの型紙 【思】②学習シート
	4	1 〇製作計画を立てる。	

資質・能力を育成するために効果的で、主体的な学習につながる題材を貫く課題等を設定する。

2 本時の授業計画
(1) 本時の目標
見本の観察やミニエプロンの型紙を用いた操作活動を通して、エプロンの製作手順や縫い方の工夫を考え、製作計画を立てることができる。
(2) 展開

過程	時間	学習活動	主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	教師の支援 ◎評価	備考・ICT 機器等
導入	5	1 本時のめあてを確認する。	〇エプロンを作り始めていいかな。 〇作る手順を知りたい。 〇どんなエプロンを作りたいかな。 ・長く使える丈夫なエプロン。	◎評価 〇学習計画や前時の学習、小物の製作を想起することで、めあて設定につなぐ。	掲示物 電子黒板
	「世界に一つだけの□□なエプロン」を縫う順番と縫い方の工夫を考え、製作計画を立てよう。				
展開	15	2 縫う順番を考える。 (1) グループで考える。 (2) 全体で共有する。	〇どこを縫えばよいでしょうか。 ・周りを三つ折りにして縫う。 〇どんな順番で縫うとよいのか考えましょう。 ・重なっているところを見ると、縫う順番がわかる。 ・ひも通しの部分を通る。	◎ミニエプロンの型紙で三つ折りにして縫う方法を、縫う順番を三つ折りにして確認する。 〇見本を観察し、縫い方の工夫を伝える。	ミニエプロンの型紙 縫う順番を三つ折りにして確認する。 縫う順番を三つ折りにして確認する。
	15	3 縫い方の工夫を考える。 (1) グループで考える。 (2) 全体で共有する。	〇□□なエプロンを見つけましょう。 ・丈夫にするために縫い始めと縫い終わりで縫ってある。小だ。 ・ひも通せるように、ひも通しの所は端を縫ってある。 ・長く使えるために裾が大きく三つ折りにしてある。身長が伸びても調整ができると思う。	◎ミニエプロンの型紙で縫う方法を、縫う順番を三つ折りにして確認する。 〇見本を観察し、縫い方の工夫を伝える。	ミニエプロンの型紙 縫う順番を三つ折りにして確認する。 縫う順番を三つ折りにして確認する。
	5	4 製作計画を立てる。	〇分かったことをもとにして製作計画表を完成させましょう。 ・丈夫に縫う場所を書き込もう。	◎分かったことをもとにして製作計画表を完成させましょう。 ・丈夫に縫う場所を書き込もう。	〇学習計画や前時の学習、小物の製作を想起することで、めあて設定につなぐ。
終末	5	5 本時の学びを振り返る。	〇分かったことや製作で生かしたいこと、新たな疑問などをまとめましょう。 ・丈夫に作るために、返し縫いをしたり1～2針先まで縫ったりする。	◎本時のめあてに対する考えを記入できるように、振り返りの視点を示す。	ポートフォリオ (メタモジ)

本時の評価
・本時の目標と評価の整合性を図る。
・「Bと判断する状況」を具体的に明示する。

ポイント